

NID Alumni Association
VOL.7 2006 August



NID生の 気になる活躍！

今回のテーマは「気になる活躍！」

大学に残っているみなさんの後輩、友人が残した最近のさまざまな活動、受賞の一部を紹介します。
職場の同僚や上司に自慢しちゃって下さい！



開学以来初の博士号取得者を輩出！

論文：『購買行動促進のためのパッケージデザインに関する感性工学的基礎研究』

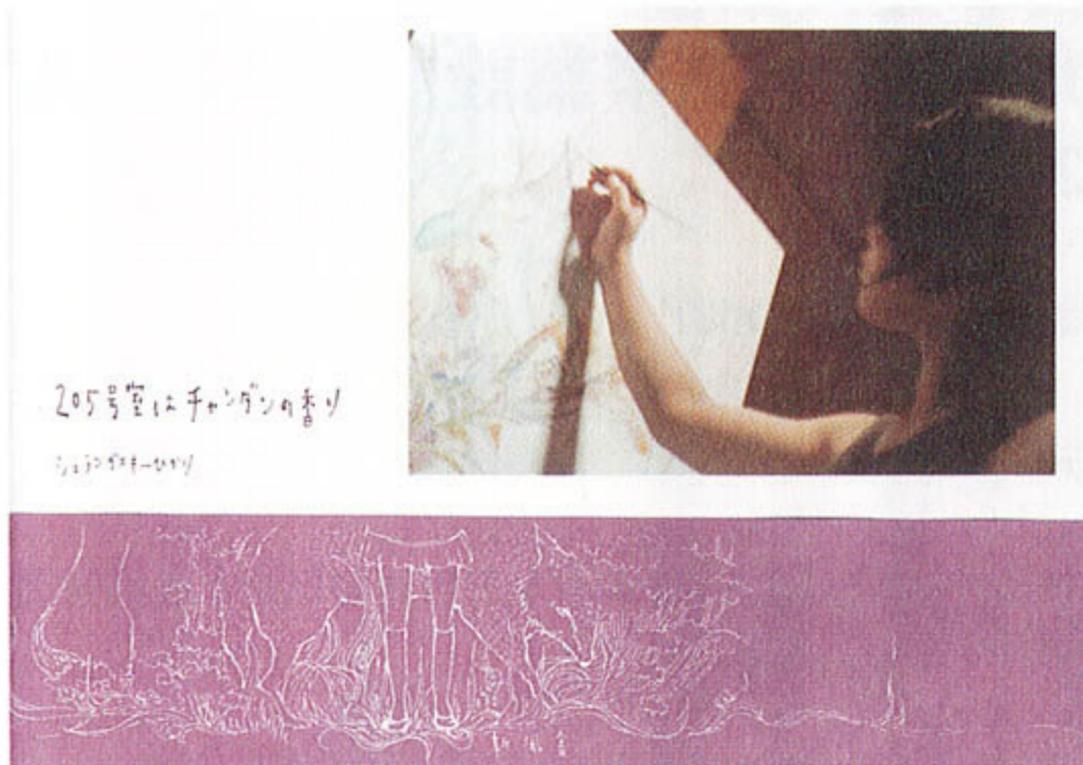


■鄭秉国（チョンビョングック）

指導教員：豊口協

こんにちは。造形大のみなさん、お元気ですか？ 回りの多くの方々のおかげで今年、造形大学ではじめて博士学位を受けることができました。今、私は韓国ソウル市にある漢陽大学で講師として、また同大学のデザイン経営センターにデザインチーム長として勤めています。3年間、離れていたワイフや娘も喜んでくれて私も本当に幸せです。長岡にいる時は学位論文のために忙しかったのですが、今は仕事のために本当にさらに忙しくなりました。

韓国に帰った2月頃は日本に初めて来た時のようにぎこちなかったですが、今はもう慣れてきました。たまに長岡を思い出します。大都市の濁る空気と空虚感の中で長岡と造形大学がとても豊かな環境だったと考えています。また帰ってみなさんと一緒に勉強したり遊びたいですね。はっきりとは決めてないですが、夏休みや冬休みの時、長岡に遊びに行きたいと思います。これからもよろしく！



在学生在写真集を出版！

タイトル：『205号室はチャンドンの香り』新風舎



校友会助成金をうけ、活動真っ最中！

活動テーマ：『深浦集落活性化プロジェクト』



■シェランガスキーひかり

産業デザイン学科 工業デザインコース4年
境野広志研究室

「205号室はチャンドンの香り」は、ルームシェアをしている後輩の女の子を撮りまとめたものです。

それまであまり深く親しいわけでもなかった二人ですが、ふたり暮らしを始めて大した事件も起こらずに気ままに生活を送ることはとても新鮮で、お互いの空気というものが素直に心地よいと感じるようになりました。後輩が課題でB全ポスターを描いている間、私はその姿を、呼吸をするようにシャッターを切っていました。

ただその空気を残したいという気持ちで作上げたこの写真集は、新風舎という出版社の写真賞に応募したことがきっかけで出版されることになりました。最終選考まで残り、惜しくも入賞を逃しましたが、その後共同出版のお話をいただき、世に出すチャンスをいただいたというわけです。

自費出版のようなもので、金銭面でも大変でしたが、出版できたというのはとてもいい機会になり、少しでも多くの人にこの2人の暮らしの空気が伝わればいいなと思います。

■DOC(文化財建造物保存研究クラブ)

建造物の調査、フィールドワークなど様々な活動を行う団体で、その成果報告会を定期的に行っている。

深浦集落は佐渡島の最南端に位置し、名前の由来でもあるように約1キロに及ぶ深い入り江を持つ地区です。深い入り江の上には、平成14年4月に県道45号線「長者ヶ橋」が架かり佐渡一周ができるようになり、これにより交通の便は良くなったものの、深浦集落は通過されてしまうだけになってしまいました。

人口も、17戸約50人と小さな村です。深浦地区にある深浦小学校には、集落から通う小学生がいないのが現状です。全校生徒で約50人、子供たちは近隣地区から通っています。

そんな深浦小学校では、総合学習の時間に自分たちが通う深浦とはどういうところなのか調査をおこない、積極的に外に広報活動を試みています。また、深浦区長も昔の活気ある姿に戻したいと考えています。

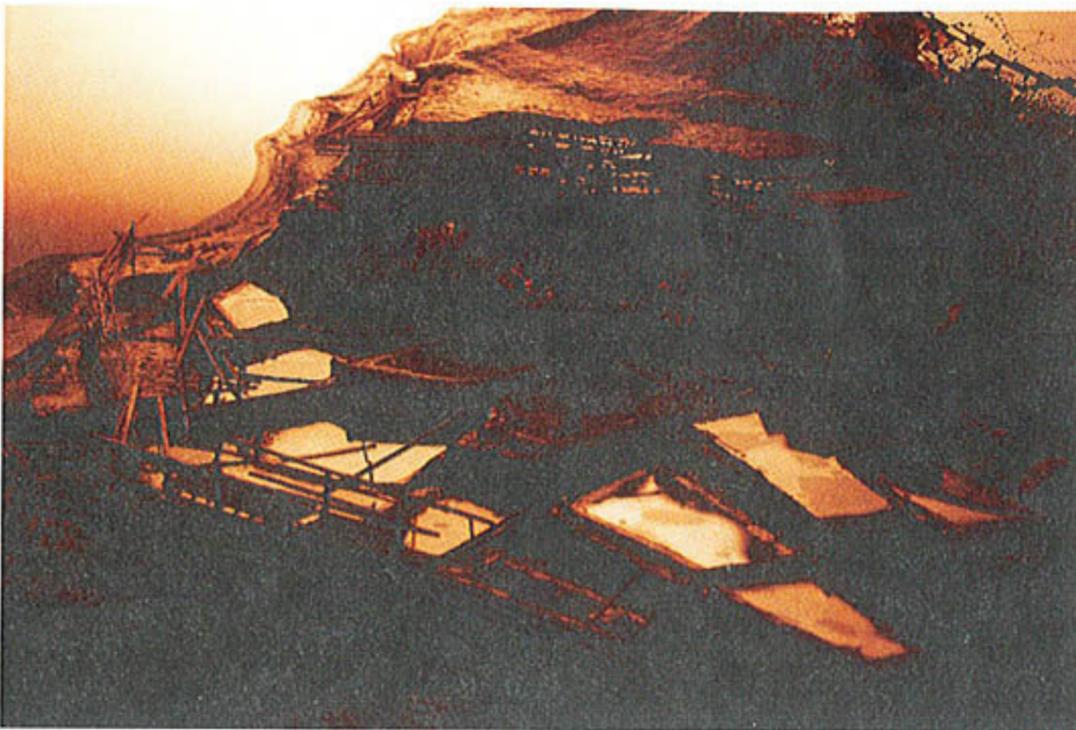
そこで、我々DOCもこの深浦集落の活性化の一助となるよう、地域住民の方々に広く巻き込んだプロジェクトを企画しました。内容としては、地域の方々にトートバックへ思い思いの絵を描いていただき、描き終えたものを海岸へ一手に展示するというものです。トートバックを利用したフラッグアートと考えてもらいたいです。

今回の企画によって、深浦集落活性化のひとつのきっかけになってもらえたらと思います。また、この活動にご支援いただいた校友会に感謝いたします。

日本建築家協会主催 JIA全国学生卒業設計コンクール 2005

金賞(最優秀賞)受賞!

テーマ：
ambience + scape
山葵園(わさびえん)による人工自然の伝承と建築空間
の融合



■ 大学院造形研究科修士課程 1 年

空間計画学専攻

沼田 聡

指導教員：山下秀之

会場である横浜バンクアートミュージアムにて、自分の名前がコールされると、頭は、真っ白になり、かつてどこかで味わった至福を感じました。

幼いころ、溪流は、私を育ててくれました。おぼろげながら記憶にあるのは、父に連れられ、険しき山を登り、緑生い茂る溪流に糸を投げ込む至福の記憶。それは、私のデザインの発想起源であり、私が意識の底に常に持っているものです。30分足らずのドライブでそういったフィールドに出会える新潟は、私の記憶にザクッとメスを入れ、かつて眠らせてきた自分を引き上げてくれました。懐かしくも新しい。

私は、懐古と斬新から導かれるデザインを新潟のフィールドに発見しました。そういった事実が、身近に忍び込み、奇妙な刺激であり得ることが、長岡の強みであると思いません。

今回の受賞は、私にとって誇りであり、戒めとなる幼少期の溪流のような存在と受け止め、今後の発展に寄与させたく思います。

子供の頃よくお祖母や両親に言われた「もったいない」。この言葉は物に対し、惜しむことや、感謝の気持ちを意味します。しかし、実は地球や自然について考えられていることに気づきませんか？ 普段の生活の中でもこの「もったいない」を意識するだけで、地球環境は自然と改善されていくと思います。環境問題やエコはよく分からなくても、「もったいない」は分かるはず。日本のかつての美徳、「もったいない」を今こそ取り戻しましょう。日本には、「もったいない」があった。



環境問題は分からないけど「もったいない」なら分かる。

第73回毎日広告デザイン賞

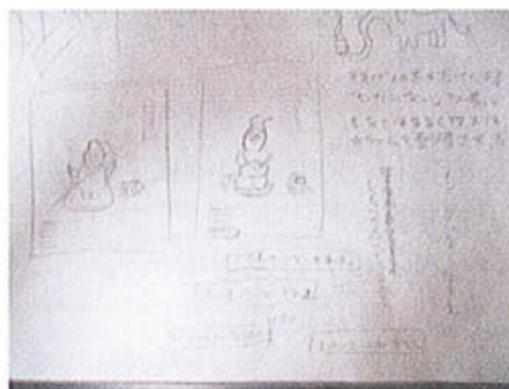
第2部 一般公募・発言広告の部 最高賞受賞!

テーマ：
もったいない

ヘッドコピー：
環境問題は分からないけど「もったいない」なら分かる。

サイズ：
14段

制作者：
CD 清水清和



■産業デザイン学科 視覚デザインコース 4年

清水清和

岩田俊雄研究室

腰なんて抜けるわけないと思っていたが、本当に抜けた。まさか賞など取れると思っておらず（しかも最高賞）正直軽い気持ちで応募したので、受賞の知らせを聞いた時は「これは夢だ！」と思いきり頬を引っ張った。

作品については軽い気持ちと言いつつも「もったいない」についてとにかく調べまくった。

そこで「もったない」の流行をつくったケニアのマータイさんが「『もったいない』には環境問題を解決する力がある」と語った言葉を読み、「環境問題って何だか難しい。だったら『もったいない』の方がわかりやすいじゃん。」と思った訳である。おばあさんの継ぎはぎをしている姿は『もったいない』という言葉にぴったりだったから。

デザインのレベルは全然未熟だが、おそらく内容を見てくれたのだと思う。そういった意味で本当に嬉しかった。

大学からのお知らせ

■卒業・修了研究作品アーカイブについて

昨年度から、卒業・修了研究作品を大学ホームページにアーカイブとしてストックすることにしました。

「大学ホームページ」→「卒業生の方へ」→「卒業・修了研究作品アーカイブ」から入ることができます。アクセスできるのは長岡造形大学の教職員、在学生、卒業・修了生で、閲覧にはパスワード(9402088)が必要です。今後、作品を追加して、アーカイブとしての役割を果たせるように充実させていく予定です。

■卒業・修了生への資料貸出について

長岡造形大学附属図書館では、卒業・修了生の皆さんへの資料貸出を行っています。居住地の県内外を問わず、本学卒業・修了生であればご利用いただけます。

利用についての詳細は、「大学ホームページ」→「大学施設」→「図書館」→「利用案内」をご覧ください。

■卒業・修了後の各種証明書の発行について

卒業・修了後、各種証明書が必要となった場合は、大学事務局にて直接申請を行うほか、郵便での申請も受付けています。

証明書発行についての詳細は、「大学ホームページ」→「卒業生の方へ」→「各種証明書の発行について」をご覧ください。

長岡造形大学ホームページ <http://www.nagaoka-id.ac.jp/>

■皆さんの活躍情報をお寄せください

大学事務局入試広報課では、本学が発行する印刷物やホームページで在学生・卒業生の皆さんの活躍を紹介しています。個展の開催やコンペでの受賞など、卒業後の皆さんの活動をメールやお電話で気軽にお寄せください。

<連絡先>

入試広報課

TEL:0258-21-3331 FAX:0258-21-3343

E-MAIL:koho@nagaoka-id.ac.jp

ご協力をお願いします。

校友会からのお知らせ

■平成17年度学生生活動助成金 採用結果報告

採用者(個人/団体名称) 活動テーマ

- 1 工芸デザインコース
工芸デザインコース卒業制作学外展示
- 2 テキスタイルデザイン織コース
学生の和紙による構成
- 3 文化財建造物保存研究クラブ
深浦ワークショップ

応募件数:4件(うち団体4件)

■平成18年度 新役員

丸山 敬弘(校友大会担当)

川村 隆太(校友大会担当)

黒木 禎史(広報担当/第9期学年幹事)

高井 由美子(助成金担当)

鈴木 智恵(助成金担当)

■校友会広報誌への原稿依頼

今後、校友会広報誌を発行する際、会員の皆さんに原稿作成の依頼をすることがあるかもしれません。その際には、皆さんの活躍振りをお知らせいただきたく、よろしくお願ひします。

■住所変更等の際はお知らせください

転居・転勤等で、現在お届けいただいている登録内容に変更のある場合は、校友会にご一報ください。校友会では、広報誌「NIDAA」をはじめ、様々なご案内を郵送にてお届けしています。一人でも多くの方に情報がいきわたるようご協力をお願いします。

<連絡先>

長岡造形大学校友会(大学事務局学生支援課)

TEL:0258-21-3341 FAX:0258-21-3312

E-MAIL:gakusei@nagaoka-id.ac.jp

みなさんからお預かりした校友会費は、このように使わせて頂いています。

■平成 17 年度長岡造形大学校友会決算

〔収入〕		
項目	予算	決算
終身会費	8,620,000	8,690,000
前年度繰越	466,920	466,920
預金利息	0	42
校友大会参加費	0	38,000
助成金返戻	0	135,280
合計	9,086,920	9,330,242

〔支出〕

項目	予算	決算
事務費	150,000	44,625
会議費	50,000	28,490
旅費	350,000	168,160
助成金	2,020,000	1,032,940
広報費	200,000	198,290
校友大会	150,000	101,497
卒業・修了記念品	600,000	502,390
通信運搬費	600,000	364,756
積立金	4,000,000	6,000,000
予備費	966,920	1,974
合計	9,086,920	8,443,122
収入－支出	0	887,120

■平成 17 年度長岡造形大学校友会特別会計決算

〔収入〕		
項目	予算	決算
前年度繰越	66,067,488	66,067,488
一般会計から繰入れ	4,000,000	6,000,000
預金利息	0	15,864
合計	70,067,488	72,083,352
〔支出〕		
項目	予算	決算
次年度繰越	70,067,488	72,083,352
合計	70,067,488	72,083,352

■平成 18 年度長岡造形大学校友会予算

〔収入〕	
項目	予算
終身会費	8,800,000
前年度繰越	887,120
預金利息	0
合計	9,687,120

〔支出〕

項目	予算
事務費	100,000
会議費	50,000
旅費	350,000
助成金	2,050,000
広報費	1,750,000
校友大会	200,000
卒業・修了記念品	600,000
通信運搬費	500,000
積立金	3,000,000
予備費	1,087,120
合計	9,687,120
収入－支出	0

■平成 18 年度長岡造形大学校友会特別会計予算

〔収入〕	
項目	予算
前年度繰越	72,083,352
一般会計から繰入れ	3,000,000
預金利息	0
合計	75,083,352
〔支出〕	
項目	予算
次年度繰越	75,083,352
合計	75,083,352

長岡造形大学校友会 会報誌 第7号

2006年8月発行